

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

去勢抵抗性前立腺癌に対する Docetaxel 療法における好中球減少症と骨転移の関係について

1．研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院で 2005 年 5 月から 2024 年 3 月までに昭和大学病院で去勢抵抗性前立腺癌に対してドセタキセル療法が施行された患者が対象となります。

2．研究目的・方法

前立腺癌の進行した状態として去勢抵抗性前立腺癌という状態があります。一般的に転移を起こしている可能性が高く、特に骨転移が多い傾向にあります。この状態ではホルモン療法に抵抗を示すため、化学療法として、ドセタキセルやカバジタキセルといった抗癌剤が使用されることとなります。同薬剤の副作用として好中球減少症が知られており、好中球減少を認めると感染のリスクが上昇するため致命的なトラブルとなることがあります。好中球は骨髄という骨の部分でつくられます。骨転移が進んだ状況ではドセタキセルを使用することで好中球減少症の発生確率が高くなるのではという仮説が立てられます。今回我々は本研究において、骨転移とドセタキセル療法における好中球減少症の関係を明らかにすることを目的としております。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 5 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、身長、体重、PSA 値、Gleason score、初回投与量、白血球数、好中球数、Hb、血小板数、腎機能（Cr、GFR）肝機能（GOT、GPT）CRP、骨シンチ（ANN、BSI、Hs）

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者：昭和大学病院泌尿器科 中神義弘

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 泌尿器科 氏名：中神義弘

住所：東京都品川区旗の台 5-14-3 電話番号：0337848560